

にいに、がんばるよ

柴尾謙誠しばおけんせい

ぼくは二ねんまえ「おとうと」から「にいに」になりました。ずっと「にいに」になりたいとおもっていたので、「にいに」になれてとてもうれいけれど「にいに」はおもっていたよりも大へんです。

ぼくを「にいに」にしてくれたのは、いもうとのきいちゃんです。

きいちゃんは、とてもおしゃべりが上手です。ぼくとおねえちゃんがけんかをする時、

「けんか、しないよ。」
と、ちゅういします。

ぼくがしゅくだいの中にもボートとしていて

「はやく、しなさい。」
と、またちゅういします。

ぼくはすこしいやなきもちになります。なぜかという時、おあさんのいいかたにそっくりだからです。

そして、きいちゃんはすこしらんぼうです。きに入らないことがある時、ぼくをポコポコとたたきます。それから、ぼくが一しゅうけんめいにつくったブロックのおもちゃをすぐにこわします。

いたくてかなしいけれど、ぼくはグッとがまんします。なぜ

かという時、ぼくは「にいに」だからです。

「にいに」は、たくさんがまんをしなければいけません。

けれど、やつぱりぼくは「にいに」になれてよかつたなあとおもいます。

なぜかという時、きいちゃんはぼくをたくさんニコニコにしてくれるからです。

学校からクタクタでかえつても
「にいに、おかえり。」

といわれる時、一しゅんでげんきになります。
はしつてころんでしまったときも

「にいに、だいじょうぶ。」

といわれる時、ぼくのなみだはシュツとひっこみます。
かわいっこえで

「にいに、だあいすき。」

といわれて、ギユウツとされると、すこくしあわせなきもちになります。

きいちゃん、ぼくを「にいに」にしてくれたありがとう。
きいちゃんのじまんの「にいに」になれるように、にいに、
がんばるよ。